

科目名	哲学			科目コード	0105
開講学科	総合教育科目	単位数	4	形態	講義
教員名	古牧徳生				
授業の目的及びテーマ：哲学者たちの思想にふれることで人間と社会を意識的にみつめてみよう					
丸い卵も切りようでは四角になる。ピラミッドだって真上から見れば四角に見えるはずだ。それなら人間だって、いわゆる道徳とか世間の常識から離れてみれば、別の姿が見えてくるだろう。そう、人間なんて文明の発達した宇宙人から見れば多少賢いサルに過ぎないだろう。そんなサルたちが懸命に無い知恵を絞って考えてきた思索の跡を突き放した目で見てみよう。これからの社会に向けて意外な手がかりが得られるかもしれない。					
授業概要					
いろいろな学問があり、それぞれの領域において確実な知識を究めている。あなたもその一人である。知識を究めるために必要なのは筋道を立てて思考していくこと、つまり論理的思考である。それを最初に、意識的に展開することで確実な知識を得ようとしたのが哲学である。すべての学問はこの哲学から枝分かれした。その意味で哲学はあらゆる学問の総本家である。本授業では哲学の中でも人間の生き方を主題とする実践哲学(一般には倫理学あるいは道徳哲学と言われることが多い)に重点を置いて、人間と社会はいかにあるべきかを考えていきたい。なお哲学的なことに関心のある方は名寄市立大学リポジトリの古牧の論文を参考されたい。					
授業計画					
第 1 回：幾つかの人間観 第 2 回：古代ギリシアの徳の倫理 第 3 回：功利主義 第 4 回：カントの人格の倫理 第 5 回：安楽死から尊厳死へ 第 6 回：脳死から臓器移植へ 第 7 回：性欲と出生回避 第 8 回：生殖補助 第 9 回：出生操作 第 10 回：遺伝子医療 第 11 回：環境問題 第 12 回：自然観の変遷 第 13 回：奴隷制度と動物の権利 第 14 回：様々な環境思想 第 15 回：ヒューマニズムの見直し					
プラトンからキリスト教をへてダーウィンまで 頭を使うことこそ人間の幸福 「快樂がいっぱい」こそ理想社会 お互いにお互いを大切にしましょう 痛いのは嫌だ 痛くなくても惨めな思いをするのは嫌だ 使えるものなら脳死者でも使え 性の快樂で何が悪い 安産祈願から「どうせ産むなら、いい子が欲しい」へ 病気の無い社会 ユートピアかディストピアか iPS 細胞がもたらす可能性 あなたも私も被害者でもあり加害者でもあり 人間中心から自然の中の人間へ ゴリラやチンパンジーもヒト属 結局は人間の頭数の問題じゃないのか ヒトのどこに線を引くのが環境的に最適解なのか					
テキスト	本学発行の教科書『哲学』			参考文献	特になし
評価方法：					
通信授業は提出課題 2 件を以って評価する。					